



携帯電話用

スマートフォン用

地域包括ケア 推進計画 特集号

発行：小平市 編集：小平市健康福祉部高齢者支援課 〒187-8701 小平市小川町二丁目1333番地 ☎042(341)1211(代表)

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.lg.jp ◇小平市公式ツイッター @kodaira_tokyo

小平市地域包括ケア推進計画を策定

小平市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画



基本理念

住み慣れた小平で、いきいきと笑顔で暮らせる
地域社会をめざして

基本目標

- 1 いつまでも、自立した、生きがいのある生活の支援
- 2 高齢者のニーズに応じたサービス提供の充実
- 3 地域でお互いに支え合い、誰もが暮らしやすいまちづくりの支援

計画期間

平成27年度から
平成29年度まで

地域包括ケアシステム構築のための施策の5本の柱

介護予防や 健康づくりの推進



介護サービスの充実



医療との連携強化



生活支援 サービスの充実



住まいの確保



地域包括ケアシステムとは

高齢者が住み慣れた地域の中で、必要に応じて、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みです。

団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)を目途に、介護が必要になっても、認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるように、地域包括ケアシステムの構築をめざします。

重点的な 取組

1

介護予防・生活 支援の基盤整備

高齢者が地域で安心して暮らし続けるためには、介護サービスだけでなく、要介護状態にならないようにするための介護予防や、見守り、家事、買い物などの生活支援も重要です。

今期計画では、新たに始まる介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施を図るとともに、見守り体制の充実にも努めていきます。

数値目標

介護予防見守りボランティアの登録者
平成29年度末目標 220人
※算出根拠=高齢者200人に1人
(高齢者人口約4万4千人と推計)

重点的な 取組

2

認知症施策の推進

医療・介護など地域の連携のもとで認知症施策を総合的に推進するとともに、認知症支援コーディネーターを配置し、認知症アウトリーチチームと連携しながら、認知症の早期発見・早期診断を図ります。

また、認知症サポーター養成講座などを行い、地域住民の認知症への理解やネットワークづくりを進めていきます。

数値目標

認知症サポーター養成講座の受講者
**平成27~29年度目標
年間平均受講者数 450人**

重点的な 取組

3

在宅医療・介護 連携の推進

在宅医療・介護連携を推進するための資源の現状に関する情報収集を行い、関係機関相互の情報共有を図ります。また、在宅医療・介護連携の関係者が参加する会議や研修会の開催などを通じて、多職種に及ぶ関係機関の連携を強化します。

到達目標

在宅医療・介護連携の推進に係る取り組みの方向を踏まえ、平成30年4月からの本格的な実施に向けて、小平市介護・医療連携推進事業を核とした対応や、検討を行っていきます。